

令和3年8月20日

新型コロナウイルス感染者の発生について（第2報）

－収束のお知らせ－

社会福祉法人友愛学園
理事長 河津英彦

8月6日にご報告しました当法人が運営する福祉型障害児入所施設「友愛学園児童部」（東京都青梅市）での新型コロナウイルスクラスター（集団感染）について、収束したものと判断し、ここにご報告いたします。

経過観察期間の8月18日を迎え、結果的に入所児童4名、職員3名の計7名の感染で収束となりました。

8月6日以降、職員1名の体調不良報告があり、PCR検査を実施、8月11日に西多摩保健所より陰性であった旨の報告を受けました。7月31日に陽性判明した児童は、8月10日まで隔離看護による健康観察、8月3日に陽性判明した児童は、8月13日まで隔離看護による健康観察をそれぞれ終え、全員心身共に元気に過ごしています。

陽性判明した3名の職員もそれぞれ、自宅療養期間を終え、PCR検査を行い、復帰しました。家庭内感染が増加している状況から、感染拡大を防止するために9名の職員がホテル住まい、中には家族を実家に預ける職員もいました。

8月16日、陽性者を含めたPCR検査の結果報告があり、全員が陰性でした。

感染者の判明以後、西多摩保健所には、PCR検査を含めて臨機応変に対応いただきました。また、的確な指導により、短期間で収束することができました。最終的に8月19日午前、オゾン燻蒸脱臭器による除菌をした後、消毒を行い、午後に再度消毒を行って通常の生活に戻る準備に入りました。

職員の職域集団ワクチン接種の2回目が、8月17日から始まり、入所施設の職員については、本日20日で接種を終える予定です。また、成人部入所利用者については、8月17日に2回目の接種を終えています。

関係団体には、感染予防品の緊急呼びかけをしていただき、複数の施設から物的支援をいただきました。職員にとって大きな励みになりました。心より感謝申し上げます。

東京都をはじめ、関東近県では感染拡大が収まりません。今後も感染予防に努め、利用者支援の向上に努力してまいります。